

問

# エゾシカ農業被害の現況と対策は

町長

## 関係機関と連携を図り取り組む



よしの 吉野 美香 議員

50代  
最後の夏を  
楽しみたい



### 有害鳥獣エゾシカ

問 本町におけるエゾシカ農業被害の推移は。

町長 過去5年間でいうと、令和5年度を除き2千万円を超える被害が生じている。

問 エゾシカ農業被害対策の実施状況と効果は。

町長 シカの農地への侵入を防ぐシカ柵の設置と捕獲による個体の減少対策を行っている。

シカ柵は平成16年度と17年度にわたり総延長約39キロメートルの柵を設置している。設置直後は被害額が減ったものの、平成21年度にはほぼ現在のレベルになっている。

### 個体数管理と有効活用

#### 第6期北海道エゾシカ管理計画では、エゾシカの適正な個体数管理と捕獲個体の有効活用を推進すること

なっているが、本町としての取り組みは。

町長 個体数管理については、訓子府町鳥獣被害防止計画に基づき捕獲をしている。有効活用については食肉などの活用が挙げられるが、町として直接的な取り組みは現在実施して



シカの回収ボックス

ない。

エゾシカを食肉として流通させるには、品質の保持のために捕獲後速やかに食肉処理施設に搬入する必要がある。本町においては、民間の食肉処理施設があり、町内で捕獲したエゾシカが食肉用に活用されている。

### 銃器・くくりわな

問 農地周辺における捕獲などの防除対策、地域ぐるみの被害対策など、被害軽減の対策の取り組みは。

町長 本町の実績としては、増えた個体数の減少を目標に、銃器とくくりわなを使用した捕獲により対策を行っている。

全額助成を行っている。また、エゾシカ捕獲用のくくりわなを115基保有しており、くくりわなの会の会員には無償で貸し出しを行っている。

今後においても、猟友会をはじめ各関係機関と連携を図りながら農業被害軽減対策に取り組んでいく。

問 農地周辺における捕獲などの防除対策、地域ぐるみの被害対策など、被害軽減の対策の取り組みは。

また、国の交付金の配分頭数を超えた分については、訓子府町有害鳥獣被害防止計画で定めた目標頭数に達するまで、町とJA合わせて6千円を交付することとしている。

ほかに、費用助成としては、猟銃免許取得費として上限10万円、わな猟免許取得費については約1万5千円の



倒れかかっているシカ柵



吉野議員の一般質問を視聴できます

議会だより

No.226 R7.8.1